

2022 年度の売上成長は業界最高水準の 15.4%、営業利益率は 21.0%と堅調

2023 年度の売上成長予測は 4%~7%、営業利益率予測は 20%~22%

バンガロール（インド） - 2023 年 4 月 13 日： 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーであるインフォシス (NSE、BSE、NYSE: INFY) の 2022 年度の業績は、売上高が 182 億ドル、実質ベースの成長率は業界最高水準の 15.4%、営業利益率は 21.0%でした。成長は業界や地域の広範囲に及びました。デジタル事業は総売上高の 62.2%を占め、実質ベースで 25.6%成長しました。

第 4 四半期の成長率は前年比で 8.8%上昇し、前期比では実質ベースで 3.2%低下しました。同四半期の営業利益率は 21.0%、当四半期のフリーキャッシュフローコンバージョンは 95.7%でした。人員は当四半期も減少傾向が続いています。

当社 CEO 兼 MD の Salil Parekh は、「2022 年度の好業績は、デジタルやクラウド、自動化機能に引き続き力を注いでいる証です。当社はお客様と同じ方向を見据えており、当社はジェネレーティブ AI を使ったエキサイティングなプログラムをお客様と開始しました」としたうえで、「環境が変わり、お客様が効率やコスト、統合に対して強い関心を示していることから、大型の見込み案件が非常に増えています。社内で効率とコストに関するプログラムを拡大し、中期的に利益率を上げる道筋を構築しています。人材投資と顧客サポートへの投資を続けていきます」と述べました。

<p>前年同期比 15.0 % 22年度 25.6 % 実質ベースのデジタル成長率</p>	<p>前年同期比 8.8% 22年度 15.4% 実質ベースの収益成長率</p>	<p>第4四半期 21.0 % 22年度 21.0 % 営業利益率</p>	<p>前年同期比 9.0% 22年度 9.7% EPS の増加</p>	<p>第4四半期 21億ドル 22年度 98億ドル 大規模取引締結</p>
--	---	--	--	--

2023 年度の見通し

- 売上成長は実質ベースで 4%~7%
- 営業利益率は 20%~22%

1. 主な業績

2022 年度第 4 四半期

- 売上高は実質ベースで前年比 8.8%増、前期比 3.2%減
- 報告売上高は 45.54 億ドル、前年比 6.4%増
- デジタル売上高は総売上高の 62.9%、実質ベースで前年比 15.0%増
- 営業利益率は 21.0%、前年比および前期比で 0.5%減
- 基本 EPS は 0.18 ドル、前年比 0.2%増
- フリーキャッシュフローは 7.13 億ドル、前年比 6.3%減、フリーキャッシュフローコンバージョンは純利益の 95.7%

2022 年度

- 売上高は実質ベースで前年比 15.4%増
- 報告売上高は 182.12 億ドル、前年比 11.7%増
- デジタル売上高は総売上高の 62.2%、実質ベースで前年比 25.6%増
- 営業利益率は 21.0%、前年比 2.0%減
- 基本 EPS は 0.71 ドル、前年比 1.3%増
- フリーキャッシュフローは 25.34 億ドル、前年比 17.1%減、フリーキャッシュフローコンバージョンは純利益の 85.0%

最高財務責任者 (CFO) である **Nilanjan Roy** は次のように述べました。「コスト最適化と業務効率化への継続的な注力が寄与し、2022 年度の営業利益率は 21.0%でした。資金回収が順調だったことから、第 4 四半期はフリーキャッシュが堅調に増加しました。資本配分方針に基づき、株式の買戻しを実施し、2022 年度は 17.50 ルピーの最終配当を提案しました。」

2. 資本配分

2022 年度、取締役会は 1 株当たり 17.50 ルピー (1ADS 当たり 0.21 ドル*) の最終配当を提案しました。既に配当済みの中間配当 1 株当たり 16.50 ルピーと合わせて、2022 年度の 1 株当たり配当総額は 34.00 ルピー (1 ADS 当たり約 0.41 ドル*) となり、2021 年度より 9.7%増加しました。これを踏まえて、当社は 2022 年度の配当総額を約 1,420 億ルピー (約 17 億ドル*) と発表しました。

当社は 2 月 13 日に公開市場で 1 株当たり平均約 1,539 ルピーで (最大買戻し価格は 1 株あたり 1,850 ルピー) 自社株買いを行いました。その結果、当社の株式資本は 1.44%減少しました。

先頃完了した株式買戻しと 2022 年度の最終配当を入れると、当社は現行の資本配分方針に基づいて、フリーキャッシュフローの約 86%を株主に還元しました。

*参考為替レート : 1 ドル = 82 ルピー

3. 顧客の獲得と声

- 当社は bp と共同で、省エネやコスト削減、炭素削減、供給信頼性の向上を可能にする総合的なエネルギー管理サービスである Energy-as-a-Service（エネルギー・アズ・ア・サービス）を開発しました。**bp インドの社長で bp グループのシニア・バイスプレジデントである Sashi Mukundan 氏**は次のように述べています。「インフォシスと能力や製品、サービスを補完し合って総合的なエネルギー・アズ・ア・サービスを創りました。この戦略提携は、当社のエネルギー目標を土台としており、当社は世界が必要としている安全で安価、且つ炭素排出の少ないエネルギーを AI/ML ベースのデジタルプラットフォームから提供することで、エネルギーの効率化を推進します。この取り組みにより、当社のお客様がサステナビリティ（持続可能性）目標をより速く達成するサポートを行います。」
- 当社は Microsoft との提携を拡大して、産業へのクラウドの導入を加速します。**Microsoft India の社長である Anant Maheshwari 氏**は次のように述べています。「インフォシスとのこの取り組みは、過去 20 年間の両社の信頼関係を更に進め、世界中の企業のイノベーションと変革ジャーニーを加速するものです。インダストリークラウドの未来を形成し続ける中で、相互の強みを活かし、Microsoft Azure のソリューションと Infosys Cobalt により、戦略的顧客へのサービスを向上できることを嬉しく思います。」
- 当社は世界中の企業顧客の事業価値の拡大を加速するために、「プライベート 5G アズ・ア・サービス」を開始しました。**HPE の通信技術グループのバイスプレジデント兼 GM である Mark Colaluca 氏**は次のように述べています。「企業はプライベート 5G をデジタル変革成功の要として捉えており、インフォシスの業界向けの事前統合済みビジネスソリューションのアプローチは 5G の普及を加速することが可能です。インフォシスと共に、当社のプライベート 5G ソリューションとインフォシスのアズ・ア・サービス、事前統合済みの業界ユースケースを活用して、顧客価値の実現の加速に取り組んでいます。」
- 当社は ZF Friedrichshafen AG と共同で、SAP Integrated Business Planning® と Infosys Cobalt を使い、多階層のサプライチェーンの刷新を行いました。**ZF Friedrichshafen AG の IT AC マーケット・資材管理部門のバイスプレジデントである Rainer Scheuring 氏**は次のように述べています。「当社は全体的な IBP 計画手法と実装パートナーであるインフォシスのガイダンスに基づいて、多階層のサプライチェーンに可用性を向上させ、在庫を削減する土台を構築しました。」
- Infosys Finacle は Infosys Finacle Liquidity Management Solution を ABN AMRO の法人顧客に導入して幅広いサービスの利用を可能にすることで、出先からも流動性の確認や管理、強化ができるようにしました。**ABN AMRO のトランザクション・バンキング・ディレクターである Xander van Heeringen 氏**は次のように述べています。「バンキング技術で市場をリードする Infosys Finacle との提携を発表できることに胸が躍ります。当社の顧客にとってスマートなキャッシュ管理の優先度が増し、財務運用における柔軟性へのニーズが高まる中、法人顧客のための適切な技術投資は ABN AMRO にとって非常に重要です。Infosys Finacle と連携すれば、当社の流動性管理事業の変革をさらに推し進めることが可能です。」

- 国連開発計画（UNDP）は Infosys Public Services（IPS）と共同で UNDP の Quantum Global Digital Management System を導入し、UNDP の全部門用の一元的でシームレスなプラットフォームを提供しました。**UNDP の最高情報責任者である Sylvain St-Pierre 氏**は次のように述べています。「デジタル技術により、絶えず変化する人々や地球の開発ニーズに合わせた素早い進化が可能となります。旧システムは変更が難しく、変わりゆく世界の開発ニーズや出来事に対応するのがしばしば困難でした。この新たなデジタルコアは飛躍的な進歩を象徴するもので、近代的で統合されたプラットフォームによる全く新しいデジタル機能と一流のデジタルユーザー体験をもたらします。Infosys Public Services と共に実装した新たなデジタル法人管理システムである Quantum は『誰も置きざりにすることのない#FutureSmart UNDP』を支えています。」
- 当社は GE Digital と公益事業部門のグリッド変革の加速で提携しました。当社は GE Digital と共同 GTM（市場進出）アプローチに基づいて、新規および既存顧客向けのグリッド関連商品やサービスに付加価値の付いたソリューションを提供します。**GE Digital Grid Software のジェネラルマネージャーである Mahesh Sudhakaran 氏**は「エネルギー革命によりグリッドがより複雑化する中、IT と OT 間の調整が重要になってきています」としたうえで、「インフォシスとの提携は、それらの統制の橋渡しを行うグリッドソフトウェアの導入を加速し、次世代のグリッド運用者にグリッドの安定性、柔軟性、持続可能性維持に必要なツールをもたらすでしょう。公益事業でクリーンなエネルギーのグリッドを管理するだけでなく統制もできるようにする鍵は、ソフトウェアや戦略構築のパートナーシップに加えて、ソリューションをうまく組み合わせることで実施することです。インフォシスは当社のソリューションに精通しており、リーダーシップに強くコミットしているため、生産性向上やサービスレベルの改善、重要コストの効率化を実現してくれるでしょう。」
- Infosys Compaz は StarHub と共同で IT 変革による同社の基礎的な技術プラットフォームの品質、性能、可用性、即応性、コスト効率の向上と、顧客満足度の向上およびサイバーリスクの削減に取り組んでいます。**StarHub の CIO である Kee Yaw Yee 氏**は次のように述べています。「新たな IT 運用モデルで将来に備える中、Infosys Compaz と共に当社の IT アプリケーションやインフラのランドスケープの主要コンポーネントの強化を行えることに胸が高鳴ります。当社の技術的なリーダーシップとインフォシスの豊富な業界専門知識、各地域での実績、実績証明済みのデジタル機能を組み合わせれば、当社のデジタルジャーニーは必ず強化され、加速するでしょう。これは当社の DARE+戦略にとっては幸先が良く、お客様の利益になるでしょう。」

4. 表彰

- Ethisphere の 2023 World's Most Ethical Companies® に認定
- Indian Corporate Governance Scorecard Assessment 2023 のリーダーシップ部門
- Top Employers Institute の Global Top Employer 2023 に認定

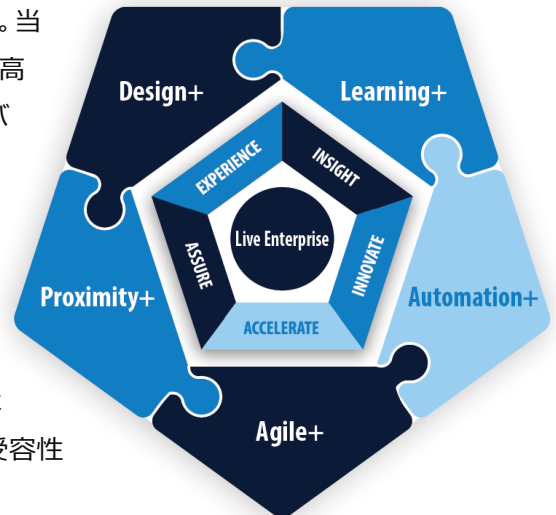
- Brandon Hall Group Excellence in Technology Awards で金賞
- Sustainability 100+ Award for Carbon Neutrality の気候アクション部門で受賞
- Asset Triple A ESG Awards 2022 for Diversity and Inclusion を受賞
- ICAI Sustainability Reporting Awards 2021-22 for Gender Equality を受賞
- Economic Times Best Organisations for Women Award, 2023 を受賞
- 2022 ISG Provider Lens™ Digital Business Enablement and ESG Services in US, UK, Nordics, Germany, Australia and Brazil でリーダーの評価
- Avasant の CPG Digital Services 2022-23 RadarView™でリーダーの評価
- Avasant の Hybrid Enterprise Cloud Services 2022-23 RadarView™でリーダーの評価
- The Forrester Wave™: Multicloud-Managed Services Providers, Q1 2023 でリーダーの評価
- Everest Application and Digital Services (ADS) in Life and Annuity (L&A) Insurance PEAK Matrix® Assessment 2023 でリーダーの評価
- Everest Advanced Analytics and Insights (AA&I) Services PEAK Matrix® Assessment 2023 でリーダーの評価
- Everest Digital Transformation Consulting Services PEAK Matrix® Assessment 2023 でリーダーの評価
- IDC Worldwide Manufacturing Intelligence Transformation 2023 Vendor Assessment でリーダーの評価
- IDC Worldwide Manufacturing Intelligence Transformation Strategic Consulting 2023 Vendor Assessment でリーダーの評価
- IDC MarketScape: Worldwide Professional Services Firms for Mining Operational Process Optimization 2023 Vendor Assessment でリーダーの評価
- IDC MarketScape: Asia/Pacific Intelligent Digital Workplace Services 2023 Vendor Assessment でリーダーの評価
- HFS Horizons: The Best Service Providers for Retail Banking, 2023 でリーダーの評価
- HFS Horizons: Digital Engineering Service Providers, 2023 でリーダーの評価
- HFS Horizons: Metaverse Services Providers 2023 でリーダーの評価
- Constellation ShortList™ Innovation Services and Engineering でリーダーの評価

- Constellation ShortList™ Learning Marketplaces でリーダーの評価
- Constellation ShortList™ Microsoft End-to-End Service Providers でリーダーの評価
- NelsonHall Financial Services Cloud NEAT, BPaas NEAT, and SaaS NEAT 2023 でリーダーの評価
- Whitelane Research and PA Consulting IT Sourcing Study 2023 で北欧のトップサービスプロバイダーに認定
- Infosys Finacle が Retail Banker International Asia Trail blazer Awards 2023 において、Bank Raya と共同で「Best Core Banking System Initiative」を、Axis Bank と共同で「Best Retail Bank」を受賞
- Infosys BPM が Everest Group Capital Markets Operations PEAK Matrix® Assessment 2023 でリーダーおよびスターパフォーマーに認定
- Infosys BPM が Everest Group Marketing Services PEAK Matrix® Assessment 2023 でリーダーに認定
- Infosys BPM が NelsonHall Financial Services Cloud, SaaS & BPaaS NEAT 2023 でリーダーに認定
- Infosys BPM と Rio Tinto が SSON North America Impact Award 2023 の Business Resiliency 部門で受賞
- Infosys BPM が UBS Forum の Corporate Social Responsibility Summit & Awards 2023 で Best CSR Impact Award を受賞

DIGITAL NAVIGATION FRAMEWORK

インフォシスについて

インフォシスは、次世代デジタルサービスとコンサルティングの世界的リーダーです。当社の従業員 30 万人以上が個人や企業、コミュニティの人材の潜在能力を高め、次の機会を創造する取り組みを行っています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステムや業務管理の経験に基づき、世界 50 か国以上のお客様のクラウドによるデジタル変革を専門家として導いています。この実現には AI を導入したコアを利用しており、企業の力を高めるためにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入しています。また、当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。当社はガバナンスの行き届いた、持続可能な組織環境づくりに強くコミットしており、受容性の高い職場で多様な人材が活躍しています。



インフォシス (NSE, BSE, NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースには、1933年証券法の第21条A項（「証券法」、改正法含む）および1934年証券取引所法の第21条E項（「証券取引所法」、改正法含む）に規定される「将来予想に関する記述」が含まれており、これには多くのリスクや不確定要素が介在しています。将来の見通しに関する記述は、主に、将来の事象または当社の将来の財務もしくは業績に関連するものであり、当社や当社が携わる業界、市況、およびその他の事項に関する当社の現時点での予想、仮定、見積りおよび予測に基づいています。一般に、これらの将来に関する記述は、「may」、「anticipate」、「believe」、「estimate」、「expect」、「continue」、「intend」、「will」、「project」、「seek」、「could」、「would」、「should」などの将来に関する用語が使用されていることから識別することが可能です。これらの記述には、当社の事業戦略に関する声明、市場における地位、将来の事業運営、成長、利益率、収益性、減損、流動性、資本資源に関する当社の期待、当社の ESG に関するビジョン、当社の資本配分方針、COVID-19 の世界経済および当社の事業および業務への影響、賃上げ、米国の移民政策および規程を含む規制の変更などが含まれます。これらの記述は、既知や未知のリスク、不確実性、その他の要因の影響を受けるため、実際の業績や結果は、将来予想に関する記述とは大きく異なるものとなる可能性があります。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2021 年会計年度（2022 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ

投資関連

Sandeep Mahindroo
+91 80 3980 1018

Sandeep_Mahindroo@infosys.com

メディア関連

Rishi Basu
+91 80 4156 3998

Rajarshi.Basu@infosys.com

Mary-Ellen Harn
+1 704 359 7996

maryellen.harn@infosys.com

インフォシス リミテッドと子会社

IFRS に基づく要約連結貸借対照表（抜粋）

（100 万ドル）

	2023 年 3 月 31 日	2022 年 3 月 31 日
資産		
流動資産		
現金および現金等価物	1,481	2,305
短期投資	841	880
売掛金	3,094	2,995
未請求収益	1,861	1,526
その他の流動資産	1,349	1,159
流動資産合計	8,626	8,865
非流動資産		
有形固定資産および使用権資産	2,516	2,429
のれんおよびその他無形資産	1,095	1,042
非短期投資	1,530	1,801
未請求収益	176	124
その他非流動資産	1,369	1,294
非流動資産合計	6,686	6,690
資産合計	15,312	15,555
負債および資本		
流動負債		
買掛金	470	545
前受収益	872	834
従業員給付債務	292	288
その他流動負債	3,135	2,766
流動負債合計	4,769	4,433
非流動負債		
リース負債	859	607
非流動負債	460	521
その他非流動負債	1,319	1,128
負債合計	6,088	5,561
親会社の所有者に帰属する持分合計	9,172	9,941
非支配持分	52	53
資本合計	9,224	9,994
負債および資本の合計	15,312	15,555

IFRS に基づく連結包括損益計算書要約 (抜粋)

(100 万ドル、株式データおよび 1 株当たり純資産データを除く)

	2022 年度 第 4 四半期	2021 年度 第 4 四半期	2022 年度	2021 年度
売上収益	4,554	4,280	18,212	16,311
売上原価	3,164	2,955	12,709	10,996
売上総利益	1,390	1,325	5,503	5,315
営業費用:				
販売費	202	179	776	692
管理費	231	226	902	868
営業費用合計	433	405	1,678	1,560
営業利益	957	920	3,825	3,755
その他の収益(純額)(3)	72	78	300	281
税引前利益	1,029	998	4,125	4,036
法人所得税費用	284	245	1,142	1,068
純利益 (少数株主利益調整前)	745	753	2,983	2,968
純利益 (少数株主利益調整後)	744	752	2,981	2,963
基本 EPS (\$)	0.18	0.18	0.71	0.70
希薄化後 EPS (\$)	0.18	0.18	0.71	0.70

注意:

1. 上記の情報は、2023年4月13日開催の取締役会で記録された2022年度第4四半期および2022年度の要約された監査済み連結貸借対照表および包括損益計算書から抜粋したものです。
2. 当社の業績に関する概況報告書はwww.infosys.comからダウンロードできます。
3. その他の収益は財務費用が控除されています。
4. 前四半期で報告された数値と当四半期の数値の合計が本報告書に記載の数値と一致しない場合があります。これは、全ての数値がソースから取得された後に四捨五入されているためです。